



九文九卷一印本
 珠金

No. 253
 25

特別
 ~13
 4182



特
A13
4182



おりふ。秋のくわはるのまきまきつ
ねよりえたく。三村のあゝのあはれさるひの
ちり。そのあはるのよ。あゝのあはれさるひの
のあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。
あゝのあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。
あゝのあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。
あゝのあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。
あゝのあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。
あゝのあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。
あゝのあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。
あゝのあはれ。まきまき。まきまき。まきまき。まきまき。

カキ
カキ

一の法はとんまへ。一句の法はのふるなり。
頂にはまゝに法具する人ありすと會うが。
うらむるまゝにこのうらむいとばつちひ。地
のちまたのつるこゝをばちちいて。直子この
道よりまゝむとあるべし。古よりばちちりて。
りる昔もやまごころよふらで。わらすといふ
とそ。遠くへ。ふく信じて身心救下。ま
たきく三む入る。昔といふ魔よはあての老。ば
くるよ。おまごころ。うらま。道をたげりありす。

然もあらず有りあらず。す。ありあらず。作り
あらず。ありあらず。可なりあらず。不可ありあ
ず。理法をまけて。ば即ち。心法をまけて。心よ
即ち。十聖き。うらま。す。元夫をまけて。元
と。法のありあま。ま。一句のうらま。ま。
けり。あり。と。む。や。た。二。を。や。お。ま。ま。い。は。の。ま。ま。
師として。道法とある。その。佛。法。會。う。て。極。師
とする。あり。元。定。して。究。竟。と。せる。あり。法。を
そつて。果。と。然。ば。そつて。是。と。あり。と。ま。ま。

よう。よくあつてはたまたまの命じて。あつて
 といふ。よくあつてはたまたまの命じて。あつて
 佛道は。あつてはたまたまの命じて。あつて
 する。あつてはたまたまの命じて。あつて
 子ありすと。あつてはたまたまの命じて。あつて
 の縁縁は。あつてはたまたまの命じて。あつて
 言おは。あつてはたまたまの命じて。あつて
 志ありと。あつてはたまたまの命じて。あつて
 道ありと。あつてはたまたまの命じて。あつて

え。あつてはたまたまの命じて。あつて
 る。あつてはたまたまの命じて。あつて
 法は。あつてはたまたまの命じて。あつて
 あつてはたまたまの命じて。あつて
 法は。あつてはたまたまの命じて。あつて
 ありと。あつてはたまたまの命じて。あつて
 の吉。あつてはたまたまの命じて。あつて
 らあつてはたまたまの命じて。あつて

徳師のそと次代ふさまぬ。湖南、隱士觀海
宛文いよせの秋長月

古くろ世おこす

むろし。あふこの國なり。その居る人といふは
徳一もまふの子ひとり。そち侍す。とまをむは
まねた。と次代う。春とを伊と。まねむきく
おりのまごまの梅の華を。ゆきさい。子にそ
りて。この光わら草。ちやえ。次ぐ。あへ。え
ほれ。す。い。る。よ。う。ぐ。ひ。す。え。い。ま。い。ま。い。す。伊
す。一。年。の。地。の。ま。ゆ。へ。よ。や。あ。や。お。ま。ひ。は。き
て。す。え。わ。ひ。よ。る。あ。や。一。れ。子。の。あ。ま。の。ひ。ま。



いんごう一とる候に一たぬらじ
おのゝ身体おと毛い海さお毛ほし
字たてきりたるれさるちあひり

いふよしの

地、のち、く、
 小園、
 有、か、
 まよ、
 り、
 此、
 と、

一、
 字、
 ま、
 ま、
 た、
 い、
 し、
 よ、
 の、

伊予の世むちりの二の三の世のむせの
年ぞうりはすてういまる世は
人のこゝ春をわがれのいせし
いうりこすてむのまのそつ花



宇一様いふ事

トウチ一様いふ事一のあこぎ一様いふ事。
一様いふ事よひだり。伊と我をわぬ。一様いふ
事一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
れる入もたひ。一様いふ事一様いふ事一様いふ事
うかよひ。一様いふ事一様いふ事一様いふ事
むさる。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
まひ。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
よまの。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事。

たろよう。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
ひわい。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
申く。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
あざ。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
の。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事。

おほい。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
の。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事
たろ。一様いふ事一様いふ事一様いふ事一様いふ事



Handwritten text in a cursive style, likely a signature or a title, oriented vertically on the right page.

カヤ成るる

カヤの地は、カヤの木の葉が落ちて、
土の上に積もり、年々厚くなる。その
葉が腐ると、草の根が伸び、
木が育ち、また葉が落ちて、
土が肥え、木がより大きくなる。この
循環がカヤの成るるの理である。

カヤの木の葉は、秋になると黄
色になり、風に舞い落ちて、土に
落ちる。その葉は、土の上で腐
り、土を肥やす。この肥えた土
は、木が根を伸ばし、水を吸い
上げ、葉を育てる。また、木の
幹は、年々太くなり、木が成る。
このように、カヤの成るるは、
自然の理によるものである。

カヤの成るるは、自然の理による
ものである。その理を知らずして、
木を伐採し、土を踏み固めると、
カヤは成らなくなる。よって、
カヤを育てるには、自然の理を
守ることが大切である。



Handwritten text in a vertical column, likely a title or a short story, written in a cursive style. The text is arranged in a single column on the right page of the book.

序一 序文

序一 此の書は、
あるのていふ、
又月雨の序文、
よす、
えい、
るは、
ハ、
ハ、

序一 此の書は、
あるのていふ、
又月雨の序文、
よす、
えい、
るは、
ハ、
ハ、

序一 此の書は、

長き道の中へさちぢぢと
かへ地の三つとす、いかに
う田子さむと、おのちのさる



第一卷の序

この書は、
著者の研究の
結果を、
簡明に、
系統的に、
記述する
ものである。
本書は、
著者の研究の
結果を、
簡明に、
系統的に、
記述する
ものである。

この書は、
著者の研究の
結果を、
簡明に、
系統的に、
記述する
ものである。
本書は、
著者の研究の
結果を、
簡明に、
系統的に、
記述する
ものである。



まわていよまゆひれ草のほゆのまを
やまにわすれぬきれこるのな



Handwritten text in a script, likely Indic, written vertically on the right page. The text is arranged in two columns, with the rightmost column being shorter than the leftmost. The script is cursive and difficult to decipher, but it appears to be a form of Sanskrit or a related language. The text is written in black ink on aged, yellowed paper.

序一 花かたし

長月なるぞあけいさのほのほの春もあはれ。
ていられしうはえちちらほのほのほの春もあはれ。
中いほのほの神もあはれのほのほの春もあはれ。
がれのほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。
あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。
なほいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。
あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。
ほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。

すまゝいそぬへのえるながやけひて本ののほのほ。
あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。
のほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。
あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。
のほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。

あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。

あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。

あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。

あはれいほのほの春もあはれのほのほの春もあはれ。



宇一人交るにや

おろそり三々月のすき。やもつれれき一は。
 秋なりたおさくともくちもわいんもにらり。
 そつぎれひいある木の葉まよりりて。まらぶ
 の草一い。きそ侍と一ろくもあした。三つ
 ちうしをいそねよ。まかりれき北あうたるも。あ
 くて。おろそりなよ。きんもく。おまきあふ。人れり
 たるも。まら一はる。こもらう。ま。あ
 なる。のあまひ。ひとま。はま。ま。か。り。た。ま。

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowed paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter 'G' and ending with a small flourish. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowed paper. It consists of approximately 4 lines of text, starting with a large initial letter 'M' and ending with a small flourish. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

の。さ。地。し。く。ま。い。る。あ。ら。う。と。て。こ。め。い。ひ。つ。を。す。
く。い。う。と。い。ふ。中。く。あ。ら。う。へ。と。是。に。ぼ。く。ぶ。さ
り。と。す。ま。い。す。ま。い。む。す。い。ふ。え。あ。ら。は。り。き。り。と。お
そ。ひ。け。ぐ。ま。て。わ。り。ま。つ。ら。ん。る。よ。い。海。老。う。さ。ら
ぬ。庭。の。と。ざ。い。あ。れ。い。ろ。む。う。う。た。う。そ。り。た。る。は
ま。え。ん。す。す。い。づ。て。あ。た。と。な。く。ま。い。ま。い。て。わ。ら
と。な。ぬ。ぬ。こ。う。ん。と。あ。ら。う。は。ま。い。

伊。は。い。な。あ。ら。う。う。ら。ら。の
庭。の。と。は。い。れ。い。ろ。む。う。さ。ら。ぬ。

う。え。な。よ。ま。い。の。庭。の。と。は。い。れ
伊。は。い。な。あ。ら。う。う。ら。ら。の



伊ちくく入

あつゝのそ開のあきけはひまこてひとりあ
 まひあきるほまよまへ人のとまよそちし
 伊ちくく入る人あれどを愛あそむなよる
 こやそたよくのほいぬらたまうこひれま
 なり人子あへとそたれ人と伊ちくく入
 さすのまらぬよそあすわれまうさあいろえ
 られぬさまらり。さるゝそまよすれたろそに
 さりぬこたうまがりかよそせこひつた。



寛文九己酉歲孟秋日 寺田三條下町西田庄兵衛開版



